

電気工事業者が

駒工で実技指導

「第二種」資格取得へ協力

上伊那地域の電気工事業者25社でつくる南信電気工事業協同組合上伊那地区会は、国家資格「第二種電気工事士」の試験に挑む駒ヶ根工業高校（駒ヶ根市）の生徒を指導している。今月1日から、生徒が実技の想定問題に取り組み放課後に合わせ、会員が毎日数人ずつ同校を訪れている。

電気科2年生を中心とする生徒44人が6月上旬の筆記試験を受験。27人が合格し、今月20日にある実技試験に挑戦する。近年、受験者が増えており、職員だけではサポート

できないため2017年から同会がボランティアで協力。



期間中は会員が3〜5人ずつ交代で講師役を務めている。17日は4人が訪れて生徒を指導。実技試験を想定し、生徒たちが40分以内に指定された施工条件に従って組み上げた電気回路を点検し、改善点を教えた。会員の一人は熱心な生徒ばかりなので全員合格してほしい」とし、「将来は電気工事業の道に進んでもらえれば」と期待していた。

（布袋宏之）

「第二種電気工事士」試験に挑む駒ヶ根工業高校の生徒を指導する会員